

作業服が変わりました

当社は、10月1日、社員が着用する作業服のデザインを一部変更し、新しい作業服に切り替えました。

新しい作業服は、これまでと同様、青色を基調とし、伸縮性や耐久性に優れた生地を使用するとともに、夜間時の作業者の視認性向上を図るため反射材を貼付しています。また、ポケットの追加などによる機能性の向上も図っています。

作業服の変更に伴い、これまでの作業服の一部は、NPO法人を通じてミャンマーやネパールなどの発展途上国へ寄付することとしています。また、その他の作業服は、リサイクル事業者に処理を依頼し、「固形燃料」等の原材料として全て有効活用することとしています。

委託検針員・集金員の作業服は、変更ありません。

過去に当社社員や委託員を装い、お客さま宅を訪問するなどの事例が確認されていますが、当社社員・委託員がお客さま宅を訪問する際は、従業員証など身分を証明できるものを携行しています。

不審に思われた際は、身分証明書の提示をお求めいただくか、当社コールセンター(0120-175-466)までお問い合わせください。



新しい作業服(前面)



新しい作業服(背面)

緊急被ばく医療訓練を実施しました

当発電所は、9月16日、緊急被ばく医療訓練を行いました。

今回の訓練では、地震の影響により発電所内の全ての交流電源が喪失し停電する中、管理区域^{*}内で被ばくを伴う傷病者が発生した場合の、「社内外への通報・連絡」、「傷病者への除染や応急処置」、「医療機関への搬送手順」などについて確認を行いました。

今後も様々な訓練を繰り返し、緊急時の対応力の向上に努めてまいります。

※管理区域・・・法令に定める放射線レベルを超えるおそれがあり、作業員の放射線被ばくが定められた限度を超えないよう管理している区域

【訓練の様子】



社内外への通報・連絡



発電所内「除染室」での汚染検査



傷病者の搬送

東通中学校の「職場体験・職場見学」を受け入れました

当発電所は、9月1日、東通中学校の「職場体験・職場見学」に協力し、1年生50名を受け入れました。

当日は、原子力発電の仕組みについて説明した後、原子力技術訓練棟をはじめとする発電所内を案内しました。

参加した生徒からは、「電気を作る仕組みや、電気の必要性を学ぶことができました」、「原子力発電所の説明を聞きながら見学することができ関心がもてました」などの感想が寄せられました。

当発電所では、今後も地域の未来を担う子どもたちの健やかな成長を応援してまいります。

